

第3学年国語科学習指導案

1、単元名

クラスのために作った道具の紹介ビデオを作ろう

2、単元の目標

(1) 国語科としての目標【知識・技能】

○クラスのために作った道具を説明するビデオの内容を、その目的、機能、使用事例に分けて構成することができる。

(2) 汎用的スキル

○クラスのために作った道具を紹介するビデオを分かりやすい映像にするために、実物を操作したり、事例を劇で表現したりすることができる。(伝える力)

(3) 態度・価値

○グループで一つの紹介ビデオを作成するために、友達と役割を分担したり、自分の役割に責任を持って取り組んだり、友達の役割を助けたりすることができる。(協力し合う心)

3、児童の実態

国語科における「知識・技能」の側面では、小学校低学年までに、何かの作り方や使い方といった手順を説明する活動に取り組み、時間や作業の展開に沿った順番を意識してきた。児童は、中学年となり、事柄の中心を意識したり、構成を考えたりすることが求められる。

また、「態度・価値」の面では、低学年までに、場面ごとに劇を行ったり、学級のレクリエーションにおいてグループごとに表現活動を行ったりしてきた。そこでは、それぞれの活動が独立しており、互いに相手の内容を意識した内容や活動とはなっていない。一つの事柄について表現するために、役割を分担したり、友達と協力をしたりすることが求められるようになる。

4、単元について

本単元は、社会科、理科、総合的な学習の時間で取り組んだ学習と関連させた単元である。社会科「昔の生活の道具調べ」から技術が生活を変えていくことを学び、理科「電気の通り道」から電球と回路、スイッチの特徴と機能について学び、それを組み合わせて総合的な学習の時間では「クラスのためになる道具」をグループで作成した。そこで作成した道具を、保護者に紹介するためのビデオを作成する活動に取り組むのが、本単元の学習活動である。

①教科から見た特性

本単元では、手順の説明とは異なる構成による説明を行う活動に取り組むようにさせる。具体的には、クラスのために作った道具を説明するビデオの内容を、その目的、機能、使用事例に分けて構成する活動である。

②汎用的スキルから見た特性

「汎用的スキル」として、本単元では「伝える力」を設定している。道具の目的、機能、使用事例といった児童が担当する内容に沿って、劇やスピーチ、実物の活用といった、その内容に適切な方法を選択できるようにした。どの表現方法が適切なのかを意識できる機会を通して、「伝える力」を育むことができる。

③態度・価値から見た特性

本単元では、クラスのために作った道具の説明を、その目的、機能、使用事例等で構成し、分担して表現することとした。一つの道具を紹介するために、役割を分担するという方法で協力することができ、「協力し合う心」を意識できる。

5、単元計画と資質・能力を育成する主な手立て（全3時間 本時1/3時間）

	学習活動	関連する主な資質・能力	資質・能力を育成する主な手立て
第1次 (1時間)	<ul style="list-style-type: none"> 道具を紹介するビデオの内容として考えられる項目を挙げ、全体の構成を考える。 項目ごとに役割分担をし、担当者を決める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○情報と情報との関係（国語） ○構成の検討（国語） ○協力し合う心（態度・価値） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ビデオの内容として考えられる項目を挙げ、全体の構成を考える。 ○全員が納得できる役割に就けるよう配慮したり確認したりする。
第2次 (2時間)	<ul style="list-style-type: none"> 項目ごとに、どのような内容とするのか考え、台本作りやリハーサルを行う。 ビデオカメラで撮影する。 作成したビデオを見る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○伝える力（汎用的スキル） ○協力し合う心（態度・価値） 	<ul style="list-style-type: none"> ○劇やスピーチ、実物の活用といった、担当する項目に適した表現方法を考える。 ○全員が納得できる役割を担っているか配慮する。 ○自分の役割を果たそうとする。

6、本時の学習指導

(1) 本時の目標

- ・ 道具を紹介するビデオの内容として考えられる項目を挙げ、項目と項目の関係を考えながら、全体の構成を考えることができる。(情報と情報との関係)(構成の検討)
- ・ 友達全員が納得できる役割に就けるよう配慮したり確認したりしながら、項目ごとに役割分担をして担当者を決めることができる。(協力し合う心)

(2) 本時の展開

時間	○学習活動 ・ 予想される児童の反応	◇資質・能力を育成する主な手立て ◆評価
15分	<p>○グループごとに作成した「クラスのためになる道具」を学級の他の友達に紹介し、それぞれの道具の目的や機能、効果を理解したり、そのよさを感じたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ けんかした友達が仲直りをするためのランプは、道具の目的がこのクラスに合っていると思う。 ・ 目標の時間を知らせるランプは、たくさんのスイッチが使いやすく並んでいてすごいと思う。 ・ こんなすごい道具ができたから、家の人にも紹介したい。→紹介ビデオを作りたい。 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: fit-content;"> 道具の紹介ビデオには、どのような内容をどのような順で入れればよいか </div>		
20分	<p>○自分のグループが作成した道具を紹介するビデオの内容として考えられる項目を、グループごとに話し合いながら挙げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 何のために作ったのかという目的を説明したい。 ・ このスイッチを押すとここが光るという機能の説明も必要だと思う。 ・ この道具が、もし無かったらクラスがこうなって、あったらこんなクラスになるというのを入れてみたいね。 <p>○ビデオの内容として挙げた、項目と項目の関係を考えながら、グループごとに話し合っ全体構成を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ やっぱり、最初にこの道具の目的を入れよう。目的が分からないと、どうしてこういう仕組みにしたのか分からないからね。 ・ この道具があった時の例と無かった時の例は、先に無かった時の例をやって、道具の効果が分かりやすいようにしたい。 	<p>◇ビデオの内容として考えられる項目を一つずつカードに書かせ、一人一枚以上のカードを持って話し合いを始めるようにさせる。</p> <p>◆道具を紹介するビデオの内容として考えられる項目を挙げ、ノートに書くことができる。(情報と情報との関係)(構成の検討)</p> <p>◇項目を書いたカードを机の上に並べ、ビデオ全体の構成をカードの並びで可視化できるようにさせる。</p> <p>◆項目と項目の関係を考えながら、全体の構成を考え、ワークシートに記入することができる。(情報と情報との関係)(構成の検討)</p>
10分	<p>○友達全員が納得できる役割に就けるよう配慮したり確認したりしながら話し合い、項目ごとに役割分担をして担当者を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この道具が無かったらの例を希望する人が多いけれど、誰か移ってくれる? ・ 私、移ってもいいよ。○○さんと二人で、まとめの言葉をやるけどいい? ・ 全員、自分のやりたい役割になった?これでいい? 	<p>◇全員の希望する役割と決定した結果をノートに書くようにさせる。</p> <p>◆友達が希望する役割をノートに書き、全員が納得できる役割に就けるよう配慮したり確認したりしながら、項目ごとに役割分担をしてノートに記録することができる。(協力し合う心)</p>